

北海道作業療法士会 自助具コンテスト 応募作品の概要

*A4 用紙3枚にフォントサイズ 10.5pt にて記載してください。

<p>作品の名称</p>	<p>※20文字以内で記入 ナナメキング</p>
<p>対象者の 領域</p>	<p>※該当する項目()に○を入れる。 身体障害 (○)、精神障害 ()、発達障害 (○)、高齢者 (○)、 その他 ()</p>
<p>自助具の 分類</p>	<p>※該当する項目()に○を入れる。 食事動作 (○)、整容動作 ()、更衣動作 ()、排泄動作 ()、入浴動作 ()、 コミュニケーション ()、趣味・余暇活動 () その他 ()</p>
<p>用具の種類</p>	<p>※該当する項目()に○を入れる。 工夫・改良品 ()、個別製作品 (○) ※ 工夫・改良品市販品を工夫・改良し活用しやすくした物、個別製作品アイデアから個別に製作したオリジナルな物、 とする</p>
<p>応募作品の 概要</p>	<p>※作品の目的や効果、特徴、新規性・独創性（オリジナリティー）などを簡潔に記載する。</p> <p>目的</p> <p>実習での見学で震えや拘縮によりコップからストローで水を飲む際におせてしまう様子があった。特に残りの水の量が少なくなった時に飲みづらそうにしていた。 そのため最後まで飲みやすく、安価に作成できる自助具を作成した。</p> <p>特徴</p> <p>コップに傾斜をつけることで最後までおせず飲むことができる。 コップではなくコップホルダーに傾斜をつけることで洗やすく、衛生的である。 お気に入りのコップをそのまま使うことができる事が魅力である。</p>
<p>工夫した ポイント</p>	<p>すべての材料が100円ショップで揃えることができる。 大きさや形を変えることができるのでどんな形のコップにも使用できる。</p>
<p>利用上の 留意点</p>	<p>※使用上の留意点、耐久性、衛生面といった留意点を記載する。 コップを大きく傾けた際にホルダーから外れる可能性があるため注意が必要である</p>

作
製
の
準
備

※使用材質、道具、工具、材料費、などを記載する。

プラスチック段ボール（110円）

紙粘土（110円）

接着剤（110円）

カッター

応
募
作
品
の
特
徴

※作品の外観、作り方・製作過程、活用場面について写真と説明文を用いて記載する。

※画像は最大10枚とし、自働具の特徴や使用状況が分かるような写真を使用する。

1. 作品の外観



2. 作り方・製作過程

(1) コップの大きさに合わせてプラスチック段ボールでコップホルダーを作る



(2) コップホルダーに傾斜をつける

紙粘土で傾斜をつけ、傾き、大きさに合わせて切り込みを入れる



(3) 完成



3. 活用場面

作成にあたり、工程数も少ないため、容易に作成できることが特徴的である。加えて、年代を問わずに身体障害、発達障害、高齢者など幅広い人に活用することが出来る。

応募作品の特徴
コップ自体ではなく、コップを置く土台に傾斜をつけているため、自分が気に入っているコップや長い間使ってきたものをそのまま使い続けることができる。その点から、使用する者にとって、介護や自
助具に対する抵抗感を軽減させることが出来る。



<写真の使用に関して> ※該当する項目()に○を入れる。

用いている写真に個人情報が含まれる場合：

⇒対象者に同意を得ている ()、対象者に同意を得ていない ()、該当せず (○)

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの目的以外には一切使用致しません。